



卓 話

- 3) 地域密着のロータリークラブ活動をしてほしい。
- 4) 各クラブで長期目標を設定し、多年度にわたって挑戦する。
- 5) 協議会・IMなど地区の会合には積極的に参加して、中抜けをしないように最後までしてもらいたい。

第2部は、3:40~5:40に8部門に分かれて、セッション形式で討議しましたが、71クラブの会合なので、全クラブが発言できないで終了しました。全体まとめ会のあと、懇親会が8時近くまでありましたが、最後までかなり参加者が残っていたようです。我々が来年担当するIMもこのようにスムーズで、全員最後まで残ってもらえるよう盛り上げたいと思っています。

「クラブ協議会」

椿山荘で4月14日に第2580地区協議会が開かれました。会長、4大奉仕委員会の各委員長、そして幹事の発表ということで今日は進めさせていただきたいと思います。小林次年度クラブ奉仕委員長は、今日は廣嶋ガバナー補佐と神田ロータリーに表敬訪問のため欠席しておりますので、私廣本が代理を務めさせていただきます。



★坂本次年度会長

椿山荘の会場に行き、2年前の西浦キャビネットの時に廣嶋実行委員長の下で、みんな生き生きとやったな、という感慨が昨日のここのようによみがえりました。

ジョン・ケニーRI会長は、「1世紀以上にわたり発展し続けてきたロータリーの奉仕が、これからも永遠であり続ける為には、1人1人のロータリアンが、自らの責任・やるべきことをきちんと果たして、未来へつないで行く必要があります。1人1人が鎖の輪のようなものでつながっている訳で、全ての奉仕、全ての実践はロータリアンである皆さん自身の実行にかかっています。それは言い換えると、ロータリーの未来はあなたの手の中にある訳であります」と話しています。また次年度のRIの目標はと聞かれたとき、「それは極めて単純で、この組織の状態を、年度初めより良い状態にして、年度を締めくくりたいという事です」と答えています。

さらに、次の3つの事を言っています。第1は、会員増強を図る。特に、新入会員（3年以内）を教育・訓練して、真のロータリアンに育てる。第2に、地域密着の活動をして、水と保健を大切にす。第3に、ロータリーが高い倫理性を伴った職業奉仕ができる唯一の団体である点である。

これを受けて、第2580地区の多田宏ガバナーエレクトは12項目にも及ぶ方針を打ち出しましたが、主要なものをお伝えします。

- 1) RIの立派なテーマがあるので、今年は地区テーマを特別には作らない。
- 2) 第2580地区の会員は現在3,200人、1年前に比し200人(5~6%)減っている、その為緊縮予算を組む。

★出井次年度職業奉仕委員長

このたび職業奉仕委員長という大役を任されまして、理事会というものに2回ほど参加させていただきました。地区協議会には2年前にお手伝いしましたが、今回の参加がはじめてとなります。出席して理事会ではこういう事が話され、地区協議会ではこういう事が行われていたのだと、諸先輩方の変容を改めて感じました。入会して4年目でまだわからない事が多くありますが、これから職業奉仕委員長を担当することにより、勉強していく事があると思いますので、お手柔らかにお願いいたします。

今回、次期ガバナーの話ではとりあえず、職業奉仕が一番大切なのだということを私なりに聞いてきました。その中で、職業奉仕についてわかり易い事をおっしゃっていたので紹介いたします。「ロータリーと他の奉仕団体との違いを明確に分ける特徴であり、職業奉仕倫理の高い水準を保ち、日々実践する事によって、私達は同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示す事ができます」。簡単なようですが、なかなかできないことを取り組んでいかなくてはならないと思いました。

来年度は職業人育成委員会、又これまで社会奉仕委員会で担当していた環境保全委員会を職業奉仕委員会で担当するかもしれないということということで、会長、幹事と相談しながらやっていきたいと思っています。

★秋葉賢次年度社会奉仕委員長

今回、私が地区協議会に出席して思った事は、当クラブの活動と関係のないレベルで地域の活動があるという事です。普通、ロータリー・インターナショナルから地区、そして当クラブと上から降りてくるものだと思っていましたが、よく話を聞いてみますと各クラブは自由にやっている、地域は地域であるという事でした。ですから第2580地

区は地区の中で職業奉仕や環境問題に取り組んできて、職業奉仕や環境問題等の連携がこれまでとれていなかったようです。今後は地域に出ている社会奉仕の向山会員、青少年育成の鯉江会員にご協力頂き、青少年育成、インターシップ、学校訪問、職場体験等の地区で行われている活動を支援するような形で、当クラブでは地域と連携してロータリー・インターナショナルの目標を達成していこうと話聞いてきました。

細かい内容的な事を申しますと、次年度の社会奉仕委員長は東京武蔵野ロータリーの田宮さんという方で、第2580地区では青少年育成とロータクト委員会、インターアクト委員会の3つで活動するという事です。それにプラスして指示されたのが、各クラブで行う地域との交流プログラムを積極的に継続してやってほしいとのことでした。是非、地区でやっていることプラス、当クラブでやっている四谷中学との連携など行っていくべきだと認識しました。

それからうちのクラブだけが認識不足かと思っていましたが、やはり各クラブでもトップ・ダウンで落ちてくることになってなく、バラバラに動いているということでした。あとは社会奉仕など各クラブでどういう事をやっているかという説明で終わりました。

最後に前川パストガバナーから、地区としては青少年育成活動に今年も注目したいということで、各クラブ職場体験となる場を確保する事を要望されて閉会となりました。

★大野次年度国際奉仕委員長

国際ロータリーのテーマが「ロータリーの未来はあなたの手の中に」ということなので、これを具体的に実践していかなければいけないと思います。部門別協議会ではテーブルディスカッションということで、6テーブルに分かれて国際奉仕に関するフリーディスカッションが行われ、各テーブルの方々が協議された事を発表しました。私は鯉江さんがリーダーを務めるテーブルのサブということで、10名程の方とのディスカッションに加わりました。

私が認識不足だったのは、青少年交換留学生に関しては20年位前から、様々な問題が指摘されてきたということです。中でも一番大きな問題は留学生の受け入れの問題で、ドロテが来日した時は米山さん、岩野さんのご家庭に引き受けて頂き、大変なご努力をして頂いたと改めて認識致しました。ホストファミリーの受け入れは、どのクラブも切実な問題だということが発表されました。この問題の具体的解決策では、行政の財団法人、国際交流委員会など他団体と提携をしているとか、他のクラブとの協力を模索しているなど色々出ました。また受け入れられる側の学生の質の問題も指摘されてました。青少年交換委員会で現状把握のアンケートをとり、地区へ、そして地区からRIへと提言していく必要もあるのではないかという話もありました。また近年当クラブでも留学生の受け入れがありますので、今のうちから活動しなくてはいけないかもしれないという意識を持ちました。

対人地雷除去は2010年2月に終了するという事です。当初はそのような奉仕活動に疑問の声もありましたが、今被害に遭っている人を救う事が大切であり、間もなく終了ですので、最後の支援をやっていこうという事になりました。

た。その完遂記念式典が2010年2月5日にカンボジアで行われます。2月3日～7日の予定でエコノミー利用が19万円、ビジネス利用で35万円のツアーが企画されています。チャーター便の関係上、事前に参加のアンケートを取りたいという案内が来ています。参加予定の方は私の方よりガバナー事務所に4月30日までに通知しなくてはならないのでお願い致します。地区世界社会奉仕委員会は鯉江さんが次期委員長を務められます。各クラブ活動内容のアンケート協力の要請があり、当クラブではラオスへの学校建設教育支援活動をしていますので、既にその内容をアンケートの用紙にまとめて提出してあります。世界社会奉仕にはどのような活動があるのかについては、絵画展の実施、パキスタンへの救急車の寄付、ドクターヘリ、地雷被害者への補助等の発表がありました。

2010年の世界大会はモンリオールで開催される予定です。その参加の要請もありました。概要は以上です。何かありましたら私に質問してください。

★小林久次年度クラブ奉仕委員長

今回地区大会が多田ガバナーの方針でテーブルに分かれ、各自のテーブルの中で話が進められました。クラブ奉仕委員会も幹事の部会も同様でしたが、特にこれといった指示はなく、テーブルの中で自分たちの持っている問題を話し合いました。

20年以上のクラブになるとチャーターメンバーと若い人との意見、行動が大分違ってきているようです。また夜間例会が少なく、交流が薄いという話もありました。会員の減少には皆さんやはり真剣に悩まされているようです。増強よりも減少を防ぐことが大切だというクラブもありました。また女性会員との意見の隔たりが大きい、クラブとして経費の削減をどうすればいいのか、ロータリー情報委員会では、新人会員には勉強会をなるべく早くしてほしいなどの話が出たそうです。クラブ奉仕部会では各テーブルの話をまとめて発表する事はありませんでしたが、テーブルリーダーの方がまとめ、地区協議会の報告として冊子で報告するのではないかという事でした。

★廣本次年度幹事

基本的に何をすればいいのかということよりも、どのように会長を支えていけばいいかということでした。私も入会して4年ですが、60名位の会員で推移している我がクラブは、大体毎年同じ活動をして成り立つのではないかと思います。東京東RCは以前160名の会員がいましたが、今60名ほどに減少しています。そうなるも昔の活動が難しくなり、非常に大変であるようです。ほとんど60名から減少しているクラブが多く、東京小平RCでは昨年一年間で10名がやめてしまったという話でした。幹事部会でも会員の減少の問題が取り上げられました。

他に西浦ロータリー財団委員長、酒井米山奨学委員長も協議会にご出席頂きましたが、今回は時間の関係で四大奉仕委員長の発表とさせて頂きました。また地区協議会については報告書が送られてくると思いますが、それを参考にして次年度7月になりましたら何らかの形でお知らせしたいと思います。